

## 東通村漁業連合研究会「スルメイカ漁況の見通しに係る研修会」を開催

6月7日（火）、村体育館において、村漁業連合研究会（三國孝司会長）主催による「平成23年度スルメイカ漁況の見通しに係る研修会」が行われました。

約40名が参加した今回の研修会では、講師の地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所 漁場環境部 主任研究員 清藤真樹氏から近年の漁獲動向や水温分布に基づく漁況の見通しについて講演がなされました。

清藤主任研究員によると、日本海及び津軽海峡、太平洋における漁況の見通しは、次の通り予測されるということです。

「日本海側での漁場形成は、沿岸を北上する冬季発生群の資源量がベースとなるが、沖合を北上する秋季発生群の影響度、水温の状態などが関係する。現在の状態は魚体も小さめで、沿岸の冬季発生群の資源量も少なく、来遊にも遅れがみられる。

また、津軽海峡では、主に日本海沿岸を北上する冬季発生群との関係が強く、日本海の北上流量が少ないほど海峡への流入が増え、現在の流量はやや少なめである。

太平洋側での予測は、太平洋を北上する冬季発生系群の資源量が基本となり、資源量は中位である。

全体では、来遊は遅れ、薄い可能性が高く、漁期の遅れから冬場の時化による操業数の減少もあり、漁獲減少の可能性がある。スルメイカ漁況予報など、今後の動向に注意してください。」とのことでした。

参加者は「漁獲減少の可能性がある」という今年のスルメイカ漁に不安そうな表情を見せながらも、真剣に耳を傾けていました。



挨拶をする三國會長 講師 清藤真樹主任研究員

熱心に講演を聞く参加者の皆さん

## 後期高齢者医療制度加入のみなさまへ ～後期高齢者医療制度のお知らせ～

### ○後期高齢者医療被保険者証の一斉更新について

平成23年8月1日は被保険者証の更新日です。新しい被保険者証は、7月下旬に当村から郵送いたします。有効期限は平成25年7月31日までとなります。（ただし、保険料の滞納等の理由により納付相談の必要な方については、有効期限及び更新時期が異なる場合があります。）

現在お使いの被保険者証は、平成23年8月1日以降に当村の後期高齢者医療担当窓口へ返還（郵送可）するか、確実に破棄してください。

- ・ 交付（郵送）されましたら、記載内容をご確認の上、誤りがある場合は当村窓口にお申し出ください。
- ・ 新しい被保険者証は、裏面に臓器提供の意思表示（提供する・提供しない）が記入できるようになりました。なお、意思表示の記入は義務ではありません。
- ・ 平成22年中の所得状況等により、8月1日から医療機関窓口での自己負担割合（3割負担から1割負担、1割負担から3割負担）が変わる場合があります。
- ・ その他ご不明な点は、村税務住民課後期高齢者医療係又は青森県後期高齢者医療広域連合（☎017-721-3821）にお問い合わせください。